

2019年度第5回理事会報告

日時：10月11日（金）11:00～15:40 会場：日本代協会議室 出席者：全18理事、全3監事
金子会長（代表理事）挨拶・業務報告

審議事項

災害見舞金の支給

事務局より、自然災害による会員の被災状況の報告があり、確認、共有された。

現時点では、災害見舞金の支払基準に該当する被害報告はなく、今後の新たな被害報告に関しては、全体の状況もみて義援金支援も含めて、改めて理事会に諮ることとなった。

- ・台風15号の被害を受けた千葉県代協は現在、被害情報を集約中である。
- ・茨城県代協から5会員の被害報告があったが、見舞金規定の対象となるものではなかった。
- ・関東財務局理財部金融監督第4課の佐藤寿昭課長から、千葉県被災対応（代理店ヒアリング）の実施についての協力要請があり、被災対応で奔走している3会員*を紹介し、10/8～9にヒアリングが行われた。机上の論議ではなく、現場の声を聴くことが重要という対話の姿勢そのものである。*（株）アークス 辰野方哉氏、(有)N&Bホールディングス 今西英人氏、(有)東海千葉保険 栗田秀美氏以下、丁寧な御礼メールの抜粋を掲載する。

「日頃、我々は監督者として法律に基づき体制整備等を求めています。代理店の方々におかれましては、適切な保険募集に終わることなく、むしろ、この度のような自然災害にも真摯に向き合い、そういった時だからこそ、そこ（現地）に居て、逃げず、投げ出さず、揺るがぬ強い意志を貫き、自らも被災者でありながら、被災地でお客さまと向き合っている姿や言葉に触れさせていただき、心から感動しました。」「今後、予定している「60社ヒアリング」におきましても「現場の声」や「現場から見える景色」をしっかりと感じ取って持ち帰り、当局幹部をはじめとする各方面に対して、我々の言葉として伝えさせていただきたいと思っております。」

報告事項

1. 各理事からの報告（地域担当理事、委員会担当理事） 議事録・資料参照

- ・「共通化・標準化」推進項目については、全ブロックから95項目の提言を集めた。
- ・「日本代協アカデミーの推進」：料金体系・支払方法の改定により、推進力があがり、登録が増えた。
【お詫び】料金請求書に法人名もれが判明した。「手書き追記」のうえ利用いただきたい。
- ・「仲間づくり推進」：6代協が入会目標達成。しかし、表彰基準となる入会目標数にだけ目が行き、肝心な「自代協の安定的かつ積極的な運営に必要な自主目標数」が共有されていない代協がある。
- ・「ぼうさい探検隊」：応募141件（前年101件）、提出26件（前年15件）。岩手県代協は3件達成で1冠を獲得した。サイバーセキュリティ対策の啓発も動機付けから仕切り直しする。
- ・「PR企画」は順調に収録が進んでいる。今後も最終完成へ向け、協力支援をお願いします。「代協の魅力伝える動画」についてはインパクト不足と感じたため、再作成中である。
- ・「会員資格と会費体系のあり方」：3パターンを提示する方向であるが、イレギュラーケースも確認できたので、改定検討に当たって、手順や注意事項をまとめたもの（含むシミュレーションシート）を提供する。

2. 9/12以降の主な業務報告 議事録・資料参照

- (1)仲間づくり推進、(2)代理店賠償、(3)損保大学課程、(4)日本代協アカデミー、(5)認定講師育成研修、(6)コンパニオン準備状況、(7)次年度事業計画への提言、(8)国際保険流通会議
- ・合併・廃業による退会(270店/全退会399店)が67.7%を占める。賠償、アカデミーを始めとする「代協の魅力」(席上配付資料P.7-8)の伝達が急務。
- ・代理店賠償の最終更新状況は、10,020件195,314千円と前年比較28件、1,553千円の増加。全国加入率84.0%と0.8%上昇した。不備は圧縮できているが、手続き遅延は1,500店と全体の15%となっており、意識改革が課題である。
- ・2019年度「目指せ、三冠王！」では11代協が1冠を獲得した。コンパニオンコースの受講者募集は12/1～2/14で申込受付が始まる。
- ・11/1-2第9回コンパニオン開催、来賓挨拶の際の私語厳禁の徹底についての手立てを検討している。
- ・11/16(土)

3. その他情報提供 議事録・資料参照

- (1)業界動向：関東財務局モニタリングに関する情報、(2)その他：11/8-9鑑定人フォーラム開催（講師を中島理事、日本代協アドバイザー錦野弁護士が務める、参加費@3,000円、参加を推奨する。）、サイバーの話ちらし、保毎掲載記事、阪神ブロックコンベンション企画、算出機構の「住宅の水害被害にそなえるために」など

以上